

医動物・種類同定検査結果(令和2年10月～令和3年3月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和2年10月から令和3年3月の6か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類2件(カメムシ目2件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 (相談月)	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
マンションベランダの壁面、サッシ、窓などに小型の虫が多数貼りつく。 (11月)		ヒメヨコバイ亜科の一種 (カメムシ目)	幼虫、成虫ともに植物上で生活し、主として葉裏から葉緑体を吸収する。全世界で約5,200種、日本には約100種が知られているが、小型であることや外見がよく似た種も多いことから、十分には解明されていない。
	成虫、黄白色で背面に茶褐色の斑紋、3mm		
		アブラムシ類の一種 (カメムシ目)	すべてのアブラムシ類は植物の篩管液を吸う。同種の中で翅を持つ個体(有翅型)と翅を持たない個体(無翅型)がみられるが、有翅型はごく限られた時期にだけ出現する。
	成虫(有翅型)、頭部緑白色、腹部黒色、2mm		

【 微生物検査研究課 医動物担当 】